

迎春



曾於市長

池田 孝

行政

新年明けましておめでとうござ
います。市民の皆様には、健やか
に新春をお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。

曾於市が誕生いたしました。今
年で節目の五年目を迎えます。市
誕生以来、これまで「均衡のとれ
たまちづくり・健全財政の確立・
人と自然という地域資源の有効活
用・人づくり教育文化の振興・災
害に強いまちづくり・少子高齢化
対策」という課題を掲げ、様々な
施策に取り組んでまいりました。
この間、市民の皆様には温かいご
指導とご協力を頂きましたことに
感謝を申し上げます。

市町村を取り巻く情勢は、地方
分権の推進、少子高齢化の進行、
そして政権交代後の地方財政に対
する方針転換など環境が大きく変
化しております。

これらに的確に対応し、将来に
わたり良質な行政サービスを安定
的に供給していくためには、これ

からの地方分権の時代にふさわし
い行政体制の整備や行財政基盤の
強化が不可欠であります。

曾於市では、これまでの行財政
改革をしっかりと継続しながら、
少子高齢化対策、農産物のブラン
ド化、特産加工施設の整備など、
曾於市らしさを前面に出し、「人
まち・産業」が元気になる曾於市
の創造を目指し、各種事業を推進
してまいります。

改革への取り組みとともに市政
の円滑な運営と市民の皆様の声が
反映するまちづくりのため、市民
との対話を重視し、市議会と連携
を図りながら、開かれた行政にさ
らに努めてまいりますので、どう
ぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、今年一年が市民の皆様
にとりまして、災害の無い、元氣
で幸多き年でありますことを只々
お祈りしまして、新年のご挨拶と
いたします。

平成二十二年



新年明けましておめでとございませす。皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より市議会の運営にご理解、ご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。私は昨年11月に執行された市議会議員選挙後の12月定例会で、議長のお職を仰せつかりました。浅学非才ではありますが、議長に与えられた使命を誠心誠意遂行してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

さて我が国は今、大変厳しい経済情勢の中、かつて経験のない激動の時代を向かえています。昨年は、政府も日本経済の景気不況の建て直しのため、緊急経済対策を打ち出しましたが、厳しい状況に変わりはなく、本市への影響も少なからず始めていると見られます。そのような中、曾於市も誕生して5年目を迎え、昨年7月には市長選挙があり、池田市長が再選され市政運営を継続されていると見られます。

また、8月には衆議院選挙において、それまで連立を含め半世紀以上続いた自民党から民主党に政権交代し新しい

曾於市議会 議長

大津亮二

政治スタイルが模索されているところ。地方にどのような影響が出てくるのか動向を注視しなければなりません。

これから求められることは、国民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負う新しい国づくりを構築することです。まさに地域主権改革が求められており、さらなる意識改革も必要となっております。

我々市議会議員も、これまでより4名減り、22名の新進気鋭の議員となりました。それぞれの視点で市民の暮らしの安定や福祉向上のために、議会の場で当局とは一歩離れ二歩離れずの精神で議論されていくと信じているところです。

今後、私も市議会への期待感もさらに高まり、また層重要性を担っていくと感じております。市民の皆様の負託に応えられるよう夢の持てる元氣な曾於市を目指して努力してまいります。最後に市民の皆様にとりまして、この一年が幸多き素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。